



別所だより

横浜市立別所小学校 令和5年10月19日発行



満を持して運動会！

校長 大島 宏二

後期が始まって1週間余り。9月までの厳しい残暑とは打って変わって、朝夕は肌寒さも感じられるようになりました。秋の深まりとともに、子どもたちにとって学習活動を進めやすい季節となりました。

今週末の運動会に向けて、各学年ブロックの演技や競技の練習に熱がこもってきました。また、休み時間にはリレーや応援団、開閉会式の練習などに取り組む子どもたちもいて、過密なスケジュールの中、指導者も休みなく駆けずり回るようにして、1日の活動を終える毎日が続いています。

なかでも団体演技は、子どもたちが振付や隊形移動を身に付けるためにたくさんの時間を要し、指導者も熱を入れて毎日のように繰り返し練習を重ねていきます。子どもによっては、疲れがたまったり筋肉痛になったりするこの演技練習をつらいと感じることもあるかと思います。でも、日々上達し、完成度が高まっていくのが実感できることが、子どもたちの意欲の持続につながっているのではないかと感じています。

頑張っているのは、子どもたちと教職員だけではありません。PTAの役員の皆様には、運動会の参加賞を毎年準備していただいています。今年は、例年のような学習ノートではなく、校歌の歌詞にある“5枚の矢羽根”を教職員がデザインしたミニタオルを用意してくださいました。また、正門入ってすぐの卒業記念壁画の下の花壇は、PTAにお任せしている場所なのですが、運動会の来校者に見て頂けるようにとパンジーやビオラ、秋桜を植えてくださり、その心遣いが有難いです。

先日、前任校の運動会に行ってきました。まだ半年しか時間が経っていないのに、どの子どもぐんと成長し、立派になっていて驚きました。日々接していると、子どもたちの成長には気付きにくいものですが、1年ぶりの運動会です。1年前の姿と比べて、確実に立派に成長しているお子様の姿をたくさんの保護者の皆様にお届けできるようにしたいです。